



2020年12月15日

各位

会社名 アンジェス株式会社
代表者名 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問合せ先 広報・IR グループ
電話番号 03-5730-2641

先進のゲノム編集技術を有する米Emendo社買収手続き完了のお知らせ

～遺伝子治療プログラムと次世代ゲノム編集プラットフォーム技術を有する世界初の企業の実現に向けて～

2020年12月15日、当社は先進のゲノム編集技術を有する EmendoBio Inc.(以下「Emendo 社」)の買収が完了したことをお知らせいたします。

アンジェス代表取締役社長の山田英は、このように述べています。「今回の Emendo 社の買収は、最先端の科学に基づいた遺伝子治療薬と治療法のユニークな組み合わせを見出すことで、アンメット・メディカル・ニーズ(いまだ有効な治療方法が確立されていない疾病に対する医薬品・医療への要望)の高い疾患のための革新的な医薬品に注力するという、当社の戦略上の重要なステップとなります。これにより、当社は開発パイプラインやパートナーシップを拡大し、Emendo 社独自のプラットフォームなどを活用して、遺伝子編集技術を導入することが可能となります。」

当社は、今回の Emendo 社の買収により、ゲノム編集において Emendo 社が持つ技術である OMNI スクレアーゼを用いた遺伝子治療用製品の実用化を加速させていきたいと考えております。この実用化には、当社の 20 年にわたる遺伝子治療用製品の開発経験により培われた国際的規制を踏まえた前臨床、CMC、臨床開発のノウハウ、及び GMP に沿った製造管理に関するノウハウ等、商業化に必要な知見が活かされることとなります。これにより、当社は、世界的な次世代ゲノム編集技術を活用した遺伝子治療用製品の開発企業となり、ヒトの遺伝子疾患の治療法を飛躍的に進化させることを目指してまいります。また、これにより当社は、世界初のゲノム編集プラットフォーム技術及び治療プログラム(開発候補品のことで、製品化するまでのプログラム)を一体として所有する企業となり、当社の目指す「遺伝子医薬のグローバルリーダー」にさらに近づいていくと考えております。

Emendo 社の社長兼 CEO である David Baram は、次のようにコメントしています。「今回の提携は、当社の新しい技術プラットフォームの可能性、当社の製品候補の将来性、そして当社の従業員、戦略的パートナーである OrbiMed および Takeda Ventures が当社にもたらしてくれた価値を明確に示すものです。アンジェス社との提携は、当社の事業に新たなリソースとシナジー効果をもたらし、今後の開発、提携、事業機会の拡大を加速させていくと考えています」

「今回の買収により、遺伝子医学のイノベーションリーダーが一堂に会し、有望な研究を加速し、グローバル展開を拡大して、ヘルスケアにおける満たされていないニーズの重要な領域に対処できることとなります」と、Takeda Ventures のシニアパートナーである Rob Woodman 博士は述べています。

Emendo 社について

Emendo 社は、独自のデュアルテクノロジープラットフォームを活用してゲノム全体で高精度の遺伝子編集を可能にする次世代の CRISPR 遺伝子編集会社です。Emendo 社の新しいスクレアーゼ発見プラットフォームは、ゲノムのターゲット可能な範囲を広げ、ターゲット固有の最適化プラットフォームは、高い効率を維持しながら、対立遺伝子固有の編集を含む非常に正確な編集を可能にします。OMNI テクノロ

本報道発表文は、当社の新株式の発行に関して一般に公表するための記者発表文であり、一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。

ジープラットフォームの機能は、ゲノム医学、タンパク質工学、及び治療法開発における深い専門知識とともに、血液学、腫瘍学、眼科、及びその他の疾患領域内の適応症に対処する際に、Emendo 社に独自の利点を提供します。詳細については、次の Web サイトをご覧ください。www.emendobio.com

記

当社は、2020年11月9日開催の当社取締役会にて決議いたしました Grey Fox Merger Sub Inc.を割当予定先とする第三者割当(以下「本件第三者割当」といいます。)による当社普通株式の発行に関して、2020年12月15日に、発行価額の総額(11,146,301,612円)の払込みが完了したことを確認いたしました。

また、2020年11月9日付「Emendo社の買収、第三者割当による新株式発行に関するお知らせ」(以下「11月9日付プレスリリース」といいます。)にて公表したEmendo社の買収(以下「本件買収」といいます。)が2020年12月15日に完了し、当社はEmendo社の株式の100%を取得いたしました。

1. 異動する子会社(Emendo社)の概要

(1) 名称	EmendoBio Inc.
(2) 本店の所在地	400 W 61st St, #2330 New York, NY USA
(3) 代表者の役職及び氏名	CEO David Baram
(4) 事業の内容	重篤な疾患や障害の原因となる細胞の遺伝子変異を修復、除去することができるゲノム編集技術の開発
(5) 資本金	68,496千米ドル(約7,192百万円)
(6) 設立年月日	2015年12月18日

2. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	Series B-1 優先株式: 3,760,623株 Series B-3 優先株式: 341,530株 (議決権の数: 4,102,153個) (議決権所有割合: 約40.04%)
(2) 取得株式数	普通株式: 100株 合計: 100株 (議決権の数: 100個) (議決権取得割合: 100%)
(3) 取得価額	普通株式: 約129,427,678米ドル(約13,589,906,190円)相当※1 アドバイザー費用等(概算額): 650百万円 合計(概算額): 約14,240百万円 なお、一部のEmendo社の出資者に対しては、Emendo社により合併対価として現金約58,582,653米ドル(約6,151,178,565円)が支払われます。
(4) 異動後の所有株式数	普通株式 100株 (議決権の数: 100個) (議決権所有割合: 100%)

本報道発表文は、当社の新株式の発行に関して一般に公表するための記者発表文であり、一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。

※1 1ドル=105円で計算

3. 今後の見通し

11月9日付プレスリリースに記載のとおり、本件買収の結果、Emendo社は当社の連結子会社となります。これにより段階取得による差益、及びのれんが発生する見通しです。詳細については、金額が算定でき次第開示いたします。

(参考)

本件第三者割当による新株式発行の概要

1. 発行新株式数

10,059,839株

2. 払込金額の総額

11,146,301,612円(1株につき1,108円)

3. 増加する資本金及び資本準備金の額

増加する資本金の額 5,573,150,806円

増加する資本準備金の額 5,573,150,806円

4. 申込期間

2020年11月30日から2020年12月14日まで

5. 払込期間

2020年12月15日から2021年1月31日まで

本件第三者割当及び本件買収に関する詳細につきましては、11月9日付プレスリリースをご参照ください。

以上

本報道発表文は、当社の新株式の発行に関して一般に公表するための記者発表文であり、一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。